

日高発: 広葉樹の 新たなサプライチェーン による販路拡大の取組



トドマツ林に侵入した「燃やすにはもったいない」広葉樹の流通改革へ



中間土場へ集荷→大径材仕分け→皮付き板製材→天然乾燥→多様な販促活動→新たな製品化

令和7年1月**31**日(金) 10:00~12:00(受付開始 9:30)

会場: 日高振興局 4F講堂

(浦河郡浦河町栄丘東通56)

アクセス: 「日高振興局」ホームページ参照

定員: 100名(先着順) 参加費無料

申込締切: 令和7年1月27日(月)

主 催: 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場



- 北海道は日本有数の広葉樹の産地ですが、生産される広葉樹のほとんどはチップとして流通してきました。
- 「もったいない。もっと有効活用できないか」との組合員の声に応え、ひだか南森林組合は、チップ用に集めた広葉樹原木から、製材として利用できるものを選別し、加工、販売する取組を2020年から進めています。
- 北海道立総合研究機構は、2023年よりその取組の研究支援を開始しました。資源の持続性を考慮し、対象をトドマツ人工林の中の広葉樹侵入木に絞りました。
- 林産試験場はトドマツ人工林内の広葉樹資源把握、林産試験場は広葉樹の樹種別出材量と材質評価を担当し、北海道木材産業協同組合連合会と連携して販路拡大のサポートをしてきました。
- 本セミナーは、その中間報告として、林産試験場のこれまでの成果と、全道に広がった日高産広葉樹の販路や、製品化の状況についてお話しします。



講師

利用部 資源・システムグループ

研究主幹 **酒井 明香**
(さかい さやか)

参加申込書 [申込締切: 令和7年1月27日(月)]

林産試験場企業支援部普及連携グループ 行き

FAX: 0166-75-3621

【参加申込代表者】

所属 組織名			役職名 ・氏名	
電話番号	—	—	メール アドレス	

【その他参加者】

役職名・氏名

《インターネットからでも、参加申込みできます》

右のQRコードから
申込みフォームへ
アクセスし、必要事項
を入力してください。

